

船橋非常通信連絡会ニュース

☆ オンエア・ミーティングの時間が変わりました 432.76 MHz 混信なら down QSY

第 75 号

毎土曜 08:00～ 毎日曜 21:00～ 毎第2 第4 日曜 144.76 MHz

2016 September

☆ ロールコール 432.76 MHz 毎月第1 日曜 21:00～

JJ1YNA HP <http://www.jarl.com/jj1yna/>

平成 28 年度 船橋市総合防災訓練報告

船橋市消防指令センター4F に本部統制局及び南部統制局を開局



今年も船橋市消防指令センター4F（JJ1YNA の常置場所）に本部統制局及び南部統制局を開局し、非常通信訓練に参加しました。本部統制局担当を JE1FTN 岡村さんが、南部統制局は JA7THE 遠藤が務めました。

09:00 防災訓練開始の冒頭二人で船橋市一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）を実施、1分間机の下に潜り込みました。

その後は災害対策本部からの伝達指令に基づき、非常通信連絡会で予定された 09:05 / 09:20 / 11:10 / 12:00 起案電文の通信伝達訓練を実施しました。

一時通信妨害等がありましたが、各地区統制局との通信、南部地区各避難所との通信は、アマチュア無線の通信ネットワークにより良好に確立され、伝達訓練を支障なく実施することができました。

唯一の反省点としては、市職員の方に無線室の鍵を開けてもらう為の待ち合わせ場所に食い違いがあり、本部及び南部統制局の開局が 13 分程度遅れてしまったことです。



指令センターの1階入り口は暗証番号で開くので入り口前で待ち合わせるべきでしたが、居合わせた職員に中に入れてもらい助かりました。

各避難所からは1対1の通信ですが、地区統制局や本部統制局での運用は1対多数の通信スキルが必要となりますので普段からスキルアップを図っておく必要があります。

しかし、今回初めて本部統制局を担当した岡村さんは、意外にスムーズにこなせた、と話していました。何事も経験が大事です。

皆様も地区統制局／本部統制局を経験してみることを是非お勧めします。

JA7THE 遠藤

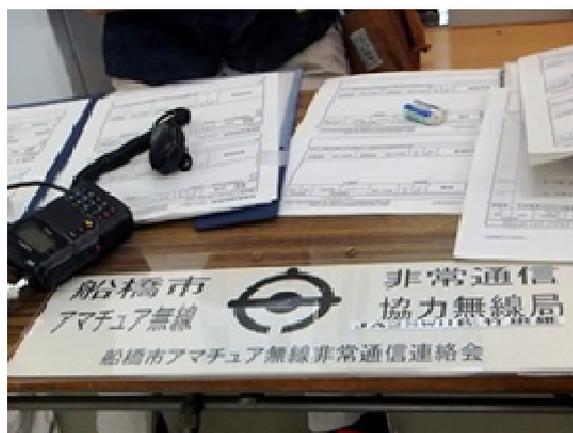
西部地区統制局 北消防署行田分署 JA1WHD稲村秀一、JA2SWH 佐竹康雄

当初予定していた西部地区統制局担当者が急用のため、急遽 JA1WHD 稲村さんが駆けつけてくれました。

毎年、船橋北消防署行田分署は1F 入り口受付横に運用デスクを設置させてもらえます。

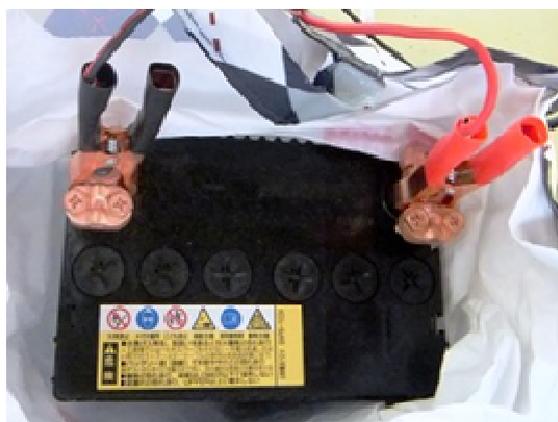
室内からはハンディトランシーバでは各避難所及び本部統制局と通信ができないため3F 屋上に2バンドG Pを設置させてもらっています。

今回も8時に到着し副分署長にご挨拶したのちアンテナ設置にかかりました。毎例年と同様、屋上手すりにクレモナロープで結わえました。



無線設備は対避難所、対本部統制局共にハンディトランシーバを使用しました。電源は内臓バッテリーと乗用車用38AHのバッテリーを使用しました。

今回の反省点としては、アンテナ系が少々不調で各避難所の電波はもっと強力に入感してもいいところが、少し弱い点です。毎年使っているアンテナシステムですが、年1回ではなく時々使用して特性を把握しておくことが重要だと改めて感じました。



予備電源で使用したバッテリーは毎月7MHz CW移動運用で使用しており、こちらは何の問題もありませんでした。

東部地区統制局 東消防署 JH1RFU/JS1GXN/JS1IWA

当日の朝 8:30 分過ぎから東消防署に入り挨拶を終えて三階建ての屋上に上がり、テーブルと椅子をセットして無線局を設置しました。アンテナは、写真用三脚にモービルホイップを取り付けたものを JH1RFU/JS1IWA が素早く設置。

初めに、避難所局の開局状況の確認を行うが、三山小学校とはメリットが悪いせいかな? 8時55分の本部との開局確認時間に間に合わず、9時以降の確認となってしまいました。

各避難所の様子としては、飯山満南小学校とは、避難所のハンディトランシーバ単体(外部アンテナなし)で 59 で通信可能でした。習志野台第二小学校は近くだが、ハンディ単体での通信はメリットが悪いので、外部アンテナを使用して欲しいです。ちなみに、他の個所はすべて外部アンテナを使用して運用していたようです。

今回の訓練において苦労した点は、中野木小学校と三山小学校は、場所により通信状態がかなり変動す



るため両者でアンテナの場所を移動して最良のポイントを探し出した点です。

東消防署の屋上でも、微妙な位置の違いで了解度がかなり改善されるので、ベストポジションを記憶して次回の参考としておく必要があると感じました。

また、途中から混信を受けて周波数変更したので、JS1IWA の予備ハンディを追加して三台のリグ(3 波の周波数)で運用したので、変更完了となるまでは混乱を招き、本部統制局と避難所各局にご迷惑をおかけしました。周波数確保の気配りが欠けていたと思われます。

さらに、役割分担の交代を念頭にしていましたが、初めからスムーズに進んでおれば途中で役割分担の



交代も出来たはずですが、今回はその余裕がなく対処療法となってしまったことが残念です。

しかし、本番の出番となったときは必ずパニックになるはずなので、平穏無事に終わる訓練を重ねるよりこのような訓練が実践に役立つのではないかと思います。

本部統制局連絡担当 JH1RFU、避難所連絡担当 JS1IWA、電文記録担当 JS1GXN

北部地区統制局 北消防署三咲分署 JA1IQX / 7L3QNB

北部統制局は、例年通り船橋市北消防署三咲分署の3階の一室をお借りしての運用でした。JA1IQX 宇田川さんがバッテリー運用で各避難所と、7L3QNB 磯部が、非常用電源が使えるという想定で本部統制局とのやり取りを担当しました。



途中、五十嵐浩司消防指令長が我々の活動を視察にお見えになり激励をいただきました。

また署内でお会いする署員の方も気さくに挨拶をしていただき、毎年のことながら非常にスムーズに良い雰囲気での訓練が実施できました。

なお、当日は公設消防としても防災訓練を実施されており緊張感の中にも防災という共通意識が感じられる訓練となりました。

アンテナの設置場所のロケーションがいいので非常にRSの良い交信ができました。

北部統制局の避難所担当3局、JA1XQC 岩橋さん、JJ1GRK 高木さん、JA1VFL 酒井さん 大変お疲れ様でした。



総合防災訓練 参加記録 JI1UUI 行田町 野間

初めての移動運用が今回の総合防災訓練でした。

(行田町会の避難所である塚田小学校に徒歩で移動)

訓練前に矢野さんから『電文が長い場合もあって大変だ』と伺っていましたが、最初の電文は3回も送っていただくことになり JA1WHD (稲村さん) にはご迷惑をお掛けしました、改めてお詫び申し上げます。また、8:30頃現着時点で JF1XPH (矢野さん) がすでに市職員と打合せ、段取りがほぼ終わっていました。矢野さんありがとうございました。訓練途中パラパラと小雨のときもありましたが、JA1WHDの統制のもとで無事訓練を進めることができました。

最終電文送信後、市職員から閉局の許可をいただき11:42閉局いたしました。

さて、次回の訓練に向けて備忘録として自分なりの整理をさせていただきます。

1. 設置場所、設備

- ① アマチュア無線、非常通信のPRの側面もあるので訓練に参加される各町会の方々の目に触れる校庭にレジャーシートを広げた（何人かにお声がけいただけました）
- ② 外付けバッテリーの上にFT-817NDを置き運用した
（バッテリー消費量を把握するため最大出力の5W）
- ③ 設備の専有面積を最小限にした
（モバイルホイップをFT-817NDに直付け、5分程度で設置完了）
- ④ MCA無線設備設置場所からは遠くなりリアルタイムの意思疎通が難しかった
（市職員のご配慮で適宜設置場所にお越しいただいた）
- ⑤ 周りで各種訓練実施、放送があると受信音が聞こえにくい
（防災行政無線のスピーカーが校舎屋上に設置されている）
- ⑥ その他の気付きと反省
 - ・非常時には市職員との連絡が取りやすい場所（近い場所）の確保が必要と感じた
 - ・了解度確保のためヘッドホンの用意もすればよかった
（過去レポートでは各局ヘッドホンをお使いの例もありましたね・・・）
 - ・通信文筆記のための用箋はさみがあればよかった
 - ・バッテリーによる長時間運用を想定し、出力を最小限に絞っての通信確立も確認すべきだった
（低出力で運用されたJA1WHD局、JG1DVY局の信号で十分受信できた）
 - ・状況変化に合わせて三脚などを利用したアンテナ設置の準備もしたい
（矢野さんのバッグからトライポッドとモノポッド+アルミ板を加工した基台が出てきて、さっと設置されるのを見て驚いた）

2. 通信文の送受信

1) 送信で気をつけたいこと

- ・電文を細切れにする（文言の区切りと書き取れる時間に配慮したい）
- ・数字や記号を繰り返して伝える（報告事項として最重要）

2) 受信の苦勞

- ・正しく受信したかの確認方法が良く分からなかった→自信がない場合は再送をお願いした
- ・被災状況を表す記号の意味も覚えておくべきだった

平成28年度 船橋市総合防災訓練 説明会及び反省会

8月14日（日）13時から総合防災訓練説明会を、8月28日（日）訓練終了後に13時半から飯山満公民館において反省会を実施しました。

参加者は、説明会23局、反省会21局でした。

説明会においては、今年の情報伝達訓練の実施要領を説明した後から、各地区ごとで相談して各局の配置場所を決定しました。

反省会においては、各統制局及び避難所局を担当した参加者全員から訓練時の状況、反省事項等について活発に発言があり、来年以降の総合防災訓練に有用な反省会となりました。

以下の事項を、来年度の総合防災訓練までに検討（処置）することとしました。

- 1 電文起案時刻の記入要領が徹底されておらず、周知が必要
- 2 地区統制局用一覧表の通信票の記入要領が不明確であり周知が必要
- 3 通報と通報の間に待ち時間があり、その間のチャンネル確保のための通信が必要

また、各統制局担当は、毎年同じ局が担当することが多く、本番に備えるため未経験の各局にも積極的に担当することをお願いして反省会を終了しました。

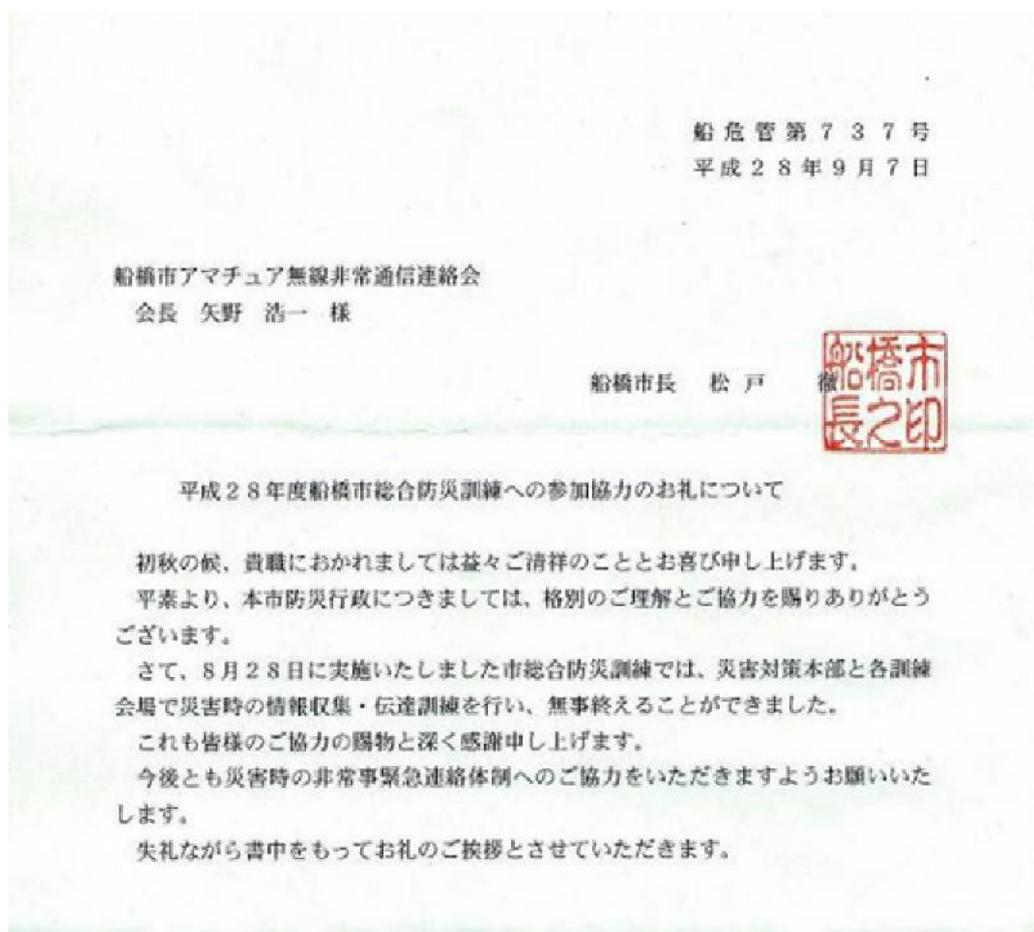
説明会の様子



反省会の様子



市長からのお礼



2016年度 JJ1YNA 第1回 ウォーキングFOXハンティング(練習会)

今年度の第1回目(通算第5回目)は以下の概要で開催されました。

日時: 2016年7月31日(日) 集合 09:45

場所: 船橋県民の森 周波数: 432.76MHz 送信出力: 1W

【スケジュール】

09:45 集合&集合場所待機(今回は一旦集合)

10:00 FOX電波発出/参加者FOX探索開始

11:30 FOX電波停止/探索終了

12:00 反省会及び懇親会 サイゼリア船橋金杉台店(自由参加)

【今回の概要】

2016年度の第1回目は、再び430MHz帯で、場所は2015年度にJJ1YNAが移動運用をした船橋県民の森周辺での開催となりました。前回と同様、今回もFOX送信機の場所を正確に最後まで特定することを必須としましたが、今回のFOXはハンディ機から同軸ケーブルで園芸ポール上部のホイップアンテナと接続する形にし、アンテナ部は約2mの高さに固定して番号札をつけた格好にしました。



FOX ID発信機は、今回もJL1CML木村さん自作の録音音声自動間欠発信装置を使い、49秒間音声によるID送出+11秒間停止=合計60秒間で1サイクルとなる繰り返しを行いました。製作した装置は、写真のとおり、APR9600音声録再生デバイスICとArduinoマイコンのプログラマブル間欠送信/受信切替のデバイスをプラスチックケースにコンパクトに収めたもので、赤色に見えるマイクとケース上部のボタンSW2個を使い肉声を録音することができます。送信/休止間隔は基盤上に設けられたシリアルINFを通じてパソコンで設定することができ、電源は006P9V電池1個で動作という、毎回ながらJL1CML局の力作です。なお、今回の装置は、コンテスト用のCQマシーンとしての活用も十分可能です。

今回の練習会では、木村さん自身のボイス送信を行いました。コンピュータ合成音声による可愛いYLさん音声によるID送出もすでに検証を終えているということです。次回はFBなYLさんの声がハンターの皆さんを悩ますことになるのではと期待しています。

FOXの探索範囲は、船橋県民の森周辺ということで参加者には事前に「船橋県民の森地図」を配布していましたが、FOX役の木村さんが目標のさざんかの家の位置を間違えるミスがあり、船橋県民の森の区域外にFOXを設置してしまいました。地図の県民の森区域内を想定していた参加者を悩ませてしまいました。

(申し訳ございません、幹事側の大反省事項です。)

探索スタート直後真っ先にFOX方向に向かったJF1XPH局も、県民の森区域内という固定観念が邪魔をしたのと至近距離で有効な電界強度計のアンテナを森の中で紛失してしまうハプニングがあり、近くを30分近くもウロウロしていたようで、それがなければ第1位となっていたことでしょう。



FOX (練習会終了後追記)



結局 FOX の場所は、スタート地点から直線で約 330m、最短ルートで 370m の至近距離だったのですが、船橋県民の森区域内という固定観念を取り除き JL1CML 局領布の FOX キャッチャー2 をうまく使いこなした JA2SWH 局がダントツの 1 位ということになりました。また、皮肉な話しですが、スタート時刻に 10 分遅刻で参加の JG1DVY 局ですが、遅れてスタートした直後に、今度は受信機が電池切れで近くのコンビニで電池を購入してから皆さんよりも約 30 分も遅れて探索スタートしたのですが、それでも第 5 位という成績になりました。

【2016 年度 第 1 回 (通算第 5 回) 成績】

順位	Call	所要時間(分)
1	JA2SWH	36
2	JF1XPH	58
3	JO1ECR +2 nd	59
4	7L4QNB	67
5	JG1DVY	75
6	JP1AWP	76
7	JA10EV	77
8	JG1KLK JH1EKM JI1KCU	78

今回は、当クラブからは、JF1XPH, JA2SWH, JG1DVY, JA10EV, JL1CML, 7L3QNB, JG1KLK, JH1EKM, JI1KCU, JO1ECR+2nd, JL1CML (FOX), JA7THE(写真撮影)が、また、さいたま市からはるる JP1AWP 局の総勢 13 名の参加をいただきました。

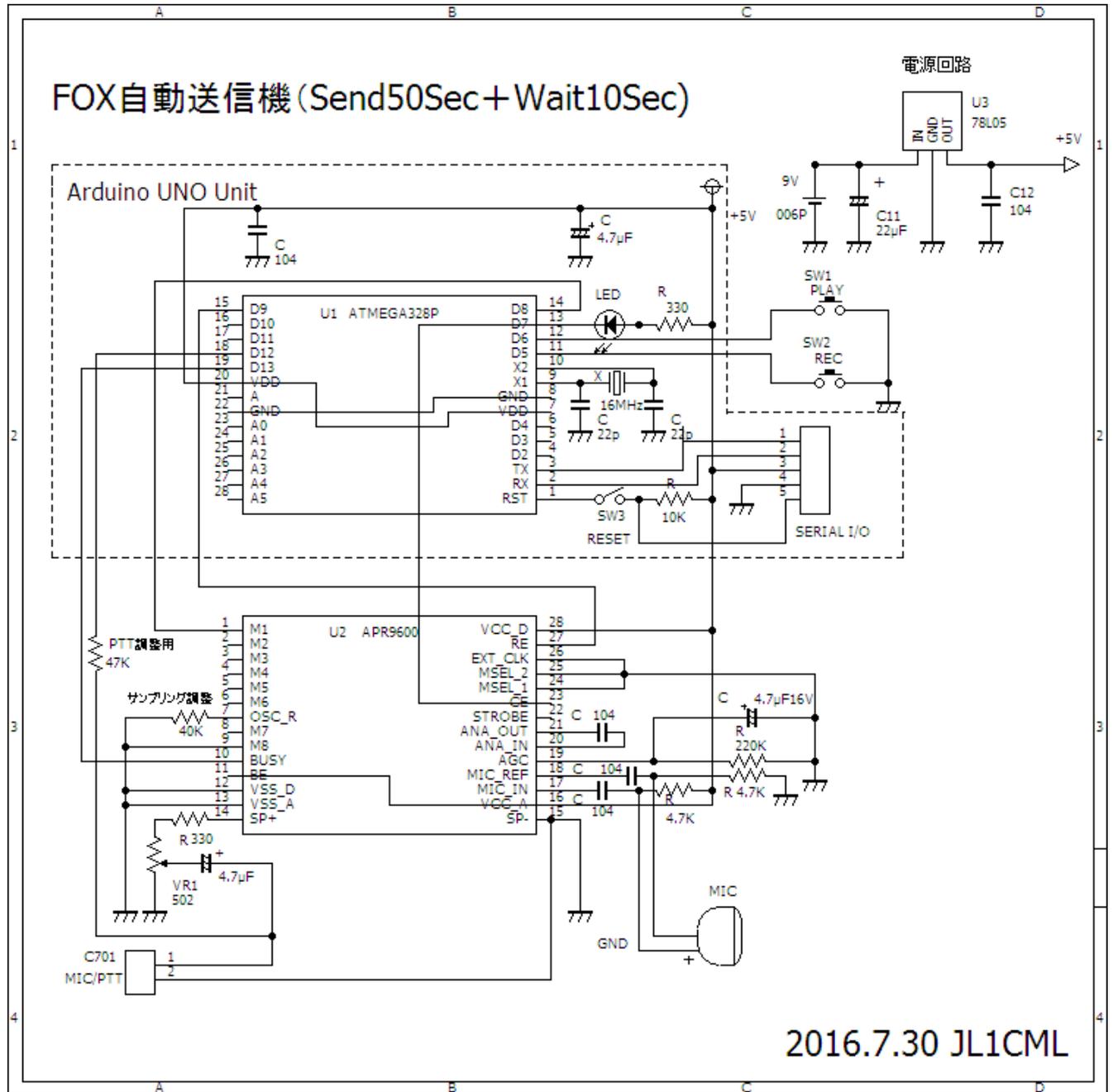
このうち自由参加の懇親会には 9 名が参加し、今回も各自の工夫・苦労の共有、今回の反省、次回の希望など議論をしながら交流を深めました。

毎回のよう、FOX の至近距離での詰めが勝敗を決します。無線機のアッテネッターや外付けのアッテネッターだけではやはり限界があります。以下のキーワードで皆さん、さらに上位を狙ってください。

【上位入賞の為のキーワード】

- ① 電界強度計/FOX キャッチャー
- ② 受信周波数ずらし
- ③ 自分の体を遮蔽体

なお、今回使用したFOX自動送信機の回路図です。興味のある方は、JL1CML 局までご連絡をお願いします。



de JA7THE/1

【参加者の皆さんの写真】



第1位 JA2SWH

第2位 JF1XPH

第3位 JO1ECR+2nd

2016 年度第1回 (通算第5回)
ウォーキング FOX ハンティング (練習会)
2016.07.31 船橋県民の森



第4位
7L3QNB

第5位
JG1EVY

第6位
JP1AWP

FOX
ANT



第8位

J1KCU

JH1EKM

JG1KLK

写真撮影
JA7THE

FOX 役
JL1CML

FOX
番号
7

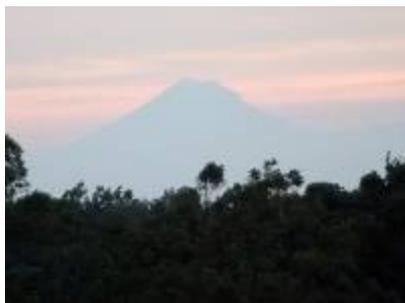
2016年度 第1回移動運用で6m&Down コンテストに参加

移動運用担当 JA2SWH 佐竹康雄

2016年7月2日(土)～3日(日)千葉県君津市内の高台にて船橋市アマチュア無線クラブの2016年度移動運用訓練第1回目として6m&Down コンテストに参加しました。今回の移動運用の目的としてはJARL主催6m&Down コンテストに参加することで運用方法、移動設備設置技術の向上を目指すものです。例年この時期は梅雨の期間で曇天か雨天ですが、今年は2日間共晴天となり絶好の移動運用日和でした。今回の移動運用はJJ1YNA/1で運用し50、144、430、1200MHzでコンテストに参加しました。コンテストは7月2日(土)21:00～7月3日(日)15:00で開催されるので準備のため2日(土)10時頃船橋を出発。432.76MHzで参加局間の連絡取りながら昼食・食料品等の買い物をして、君津市内の集合地点に向かいました。昼食・買い物を済ませて運用地点へ到着したのは14時頃でした。

1. 運用場所

運用場所は千葉県君津市内の海拔約200mの丘の上(某法人の私有地の一部を借用)で、現地からは天気の良い日には木更津～海ほたる～千葉市～東京都内の高層ビルや海を隔てた横須賀・横浜や富士山も見渡せるようなFBなロケーションです。また、この景色を眺めながら休憩できるベンチのある芝生広場や、四季の花が咲いている緑の散歩道があります。コンテストで疲れた時にはここでリラックスできます。



木更津～東京まで見渡せるFBな場所

夕陽に染まる富士山が見えました

君津、木更津あたりの夜景が綺麗



2. コンテスト参加準備

アンテナや運用デスクを設置するテント等の設営にかかりました。設営した設備は次のとおりです。

- ① 50MHz 6エレ八木 約3mH タイヤベース+60Φポール
- ② 144MHz 10エレ八木×2 約4mH タイヤベース+60Φポール
- ③ 430MHz 15エレ八木×2 約4mH (144と同一ポールに設置)
- ④ 1200MHz 15エレ八木 5mH 32Φ 5mポール、15エレループ 1mH 三脚上設置



アンテナ組み立て中(144/430)



アンテナ(50)・テント設営中



50MHz 6エレ八木アンテナ



144/430MHz スタックアンテナ



1200MHz 15エレ八木アンテナ



1200MHz 15エレループアンテナ

アンテナ、テント等の設営を終え、アンテナのSWRの測定、リグ設置、各バンドの飛び状況を確認するためのテスト運用と各作業を行いました。夕方17時頃から50MHzの運用をしているとCWバンドがやけに賑やかです。「何が聞こえているのだろう？」と良くワッチしてみるとOH(フィンランド)やI(イタリア)等のヨーロッパがやっとコールサインが確認できる程度で聞こえました。たった3mH程度の6エレ八木ですがヨーロッパが聞こえ驚きです。Es時期なのでEsマルチホップ伝搬なのでしょう。こんなに鮮明に長時間6mでヨーロッパを聞いたのは初めての経験でした。コンテスト中もコンディションが良さそうな予感がしてきました。他のバンドもそれぞれFBなロケーションからコンテスト開始までテスト運用を楽しみました。



144/430MHz 運用サイト(テント)



50/1200MHz 運用サイト(タープ)



ガスボンベ発電機をパラ運転

3. コンテストに突入

夕食、朝食はJ L 1 CML木村コック長がカレーライスと味噌汁、漬物等を準備してくれましたので参加者みなでご飯を中心に座り込んでラウンドテーブルQSOに花が咲きました。コンテスト前にお腹いっぱい美味しいカレーを食べ、エネルギーを充電して21時のコンテスト開始を待ちました。



夕食用のカレーを準備中



食事はカレーの鍋を囲んで



周りは紫陽花などの花が綺麗

コンテストではコンテストログソフトCtestwinを使用してパソコンにQSO結果をログインしました。CWはUSBIF4CWでPCから自動送信しました。各バンドのメインOP（50:JA2SWH、144:JG1KLL、430:JA7THE、JL1CML、1200:JL1CML、JA10EV）を中心に参加メンバーで交代しながら徹夜で運用しました。コンテスト開始から3時間程はパイルアップをさばいて局数を稼ぎました。深夜になり局数が少なくなった頃から強い局に隠れて聞こえなかったDX局が聞こえてきます。ここで眠い中頑張ってマルチ稼ぎが始まります。眠くなったり疲れたりした時は君津の夜景を見てリフレッシュして運用を続けました。



50MHzで深夜の運用



144/430MHz テント内で運用中



1200MHz 夜景を見ながら運用中

50MHzでは24時までには150局とQSO。夜明け頃に東海、関西、中国エリアの8マルチを稼ぎました。また24時までには144MHzでは100局、430MHzでは70局、1200MHzでは45局とQSOしました。50MHzでは9時頃からEsが出始め8,4,6エリアのマルチが増えました。正真正銘50Wですが、ほとんど1発コールでQSOでき、九州は全ての県とQSOできました。ロケーションとタイミングですね。2日間終わっての最終的なコンテスト結果は次のとおりです。

Band	QSOs	Points	Multi
50MHz	300	300	36
144MHz	160	160	12
430MHz	268	268	14
1200MHz	54	54	10

※JARLのチェック前の値です。
最終スコアはチェック結果で代わります。

Total 782 782 72 ⇒ Score : 782 × 72 = 56,304

コンテストでQSOした全局には既にクラブ局担当(JA7THE)からQSLを発行済です。

4. 参加者と運用中の写真

今回の参加者は11名でした。アンテナ設置、コンテスト運用を楽しんだり、会食しながらラグチュウしたり、クラブ員相互の懇親を深めることができました。参加いただいた皆さまお疲れ様でした。参加できなかった方も次回は是非ともご参加ください。

なお、参加いただいた皆様から頂いた会費の残金(5,200円)については活動資金としてクラブの会計に組み込ませていただきます。

参加各局： 7L3QNB、 JA10EV、 JA1TRM、 JA1WHD、 JA2SWH、 JA7THE
JF1XPH、 JG1KLG、 JH1RFU、 JL1CML、 JS1GXN

合計11局

【参加局のオペレーション風景】



J F 1 X P H



J A 7 T H E



J L 1 C M L



J A 1 T R M



J G 1 K L K



J H 1 R F U



7 L 3 Q N B



J A 1 0 E V



J A 2 S W H

技術講習会 受信感度の話

リグにはどれだけ感度があれば良いか

2016年9月3日に飯山満公民館にて技術講習会を開催しました。

これはその資料の抜粋です。

1) 受信限界の話

・受信限界って？

信号が弱くなって、音量を上げて聞き取れなくなったら受信の限界。

・HFは外部のノイズが支配的、V, UHFは受信システムが限界を決める。

・HFはIMD・感度特性図を参照(省略)。外部のノイズが充分強く聞こえたらそれ以上感度を上げないほうが良い。(多信号特性が悪化する)

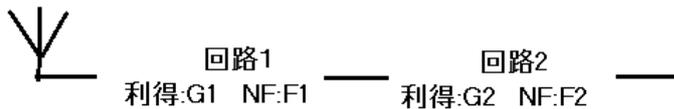
・V, UHFではできるだけノイズの少ないアンプを受信回路の前段につける。

2) まずは敵を知る！。測定方法・・・省略。要はSSGで受信機出力レベルを測る

3) ノイズフィギュアについて

$$NF(\text{真数}) = F1 + \frac{F2-1}{G1} + \frac{F3-1}{G1 \times G2} + \frac{F4-1}{G1 \times G2 \times G3} + \dots$$

(F,G共に真数)



※回路2に行くまでに信号はG1分だけ強くなっている
→回路2の雑音は、1/G1しか影響しない！

4) 設計上の受信限界

$$V_n = \sqrt{4KTRB} \text{ より、} V_n(\mu v) = 0.126\sqrt{R(k\Omega) \times B(kHz)}$$

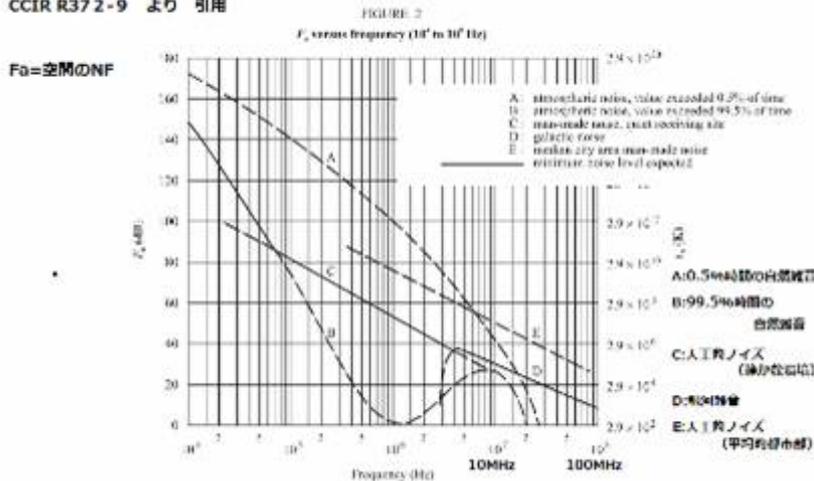
これが限界 ※表示上の帯域幅と計算上の帯域幅の違いに注意！

5) 周囲雑音の問題

1MHz付近は環境による差が大きいが、10MHzはあまり変わらず。

それ以上は都市ノイズが支配的

CCIR R372-9 より 引用



6) 雑音以下の信号は聞こえない? (回路、耳フィルタを問わず)

ア) CWでは結構聞こえる。信号積分型のNR (ノイズリダクション) が使える

イ) SSBでは微妙 適応型ノイズリダクションが使えるが、信号の検出基準が難しい。

ウ) AMはかなり難しい

キャリアがノイズで変調を受けてしまうような状態になると困難になる。

エ) FMは雑音がポップアップするので困難さが急増する

オ) 数値が同じなら受信能力は同じ? →音声通信系ではかなり違う。

① 受信回路で歪みを生じる場合⇒IMD 数値は狭帯域フィルタ以前なので注意

② AGC の特性が不適切な場合、AM ではS/N を悪化させる場合がある
SSB では頭を叩いてしまって、音の明瞭度を落とす場合がある

③ 低周波アンプの特性に問題がある場合も・・・。

音を落ち着かせるような、無意味なフィルタ、回路には注意。

7) 電波天文、業務系の話 (内容省略)

8) 業務機ではさらに別の尺度から (内容省略)

9) 今までを踏まえて・・・感度が充分かの判定方法

(ア)HF 機 最近のリグの場合は、アンテナつないでSメーターがノイズで少し

振れればOK 少し前のリグはSが振れなくてもノイズが大きく聞こえればOK

(イ)V, UHF 機の場合

最近のリグは感度限界に近いので、あとはロスを見直すべき。



出席者は14名 (+JJ1GRK)、皆さま、お疲れ様でした。

JJ1AIU JJ1KCU JJ1UUI JA7THE JA2SWH JA1WHD JA1TRM JS1IWA JH1RFU JH1FKM JL1CML J01ECR JQ1KLK
7L3QNB (敬称略、50音順) JJ1GRK 高木

事務局からのお知らせ

■免許状の更新について

半年以内に有効期限が切れる局

- ・JA1IQX 宇田川 様 ・JN1TQJ 下田 様
- ・JL1CML 木村 様 ・JA6AZE 説田 様

○免許の更新について、忘れずに手続きをお願いいたします。

また、局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付してください。

写しの提出をもって更新の確認といたします。

(平成28年9月12日現在)

事務局担当：危機管理課 播摩・萩森

編集後記

・この夏は、2回の慰安旅に出かけました。7月には、新潟までJRの企画旅「現美新幹線と温泉」ということで、ほとんど電車の旅(新幹線3回、特急2回乗車)です。8月の頭の週には、帰省を兼ねての慰安旅ということで、実家のある山口の日本海側(下関から長門市)を、身内の家族と共に巡って来ました。田舎は自然環境が最高で、海の色は関東には無いコバルトブルーと透明度の深いもので、吸い込まれそうな感じでした。

・ハンディトランシーバーの電池の消耗について調べてみました。

但し本体の電源をオフにした場合です。本当はゼロのはずが、以外な結果でした。

FT-817 9Vにて電源オフ時、5mA消費、VX-3 完全ゼロ、IC-T90 6V電源/53mA消費(まずい結果)

VX-5 6V電源/5.2mA消費と機種により異なります。私の場合、この結果からVX-3だけは電池常備装着あとは、必ず外して保管することにしました。5mAでも電池にとっては命とりなので、ご自分のトランシーバーの特性を調べることをお勧めします。

発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ 担当 JS1IWA